

# アライグマ・ハクビシンに

## お困りの方は・・・

# 青梅市環境政策課へ



アライグマ



ハクビシン

青梅市では、生態系保全や、生活環境被害防止のため、外来種であるアライグマとハクビシンの防除を行っています。

自宅敷地内でアライグマ・ハクビシンを見かけた

自宅で育てている樹木の果実・金魚などが、アライグマ・ハクビシンに食べられて困っている

自宅等、所有地での駆除を希望する方はご相談ください。

捕獲地点マップ (おうめ地図情報システムより)

※農地被害の場合は、農林水産課へご相談ください。



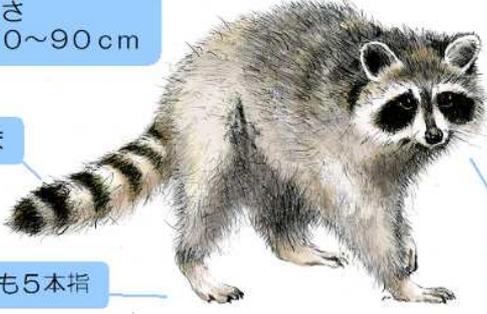
※青の網掛けは、捕獲機を設置した地点

環境政策課では、令和6年3月までの5年間で、208頭のアライグマと、25頭のハクビシンの駆除を行いました。近隣にお住まいの方は、特にご注意ください。

★注意事項・動物の特徴については裏面をご覧ください

## ご注意ください

捕獲許可のない方が野生動物を捕獲することは違法です。また、感染症や寄生虫を持っていることもあり、引っ搔かれただけで破傷風に罹患することもあります。見かけても近づいたり、ご自身で捕獲を試みたりするのはやめましょう。



中型犬くらいの大きさ  
頭から尾の先まで70~90cm

耳はとがって、  
白いふちどり

目のまわりに  
黒いマスク模様  
眉間に黒いすじ

尾に5~7本のしま

ヒゲは白い

前足・後足とも5本指

・雑食性、夜行性  
・繁殖期、出産期は  
主に2~4月頃

### アライグマ



顔の真中に  
白いすじ

スリムな体型  
頭から尾の先まで  
90~110cm

・雑食性、夜行性  
・聴覚が発達していて  
大きな音が苦手

足が短い

前足・後足とも5本指

尾が長い

### ハクビシン

## なぜ外来種は駆除しないとイケないのか

アライグマは北アメリカ大陸、ハクビシンは中国南部・東南アジア等から持ち込まれた外来生物です。個体数が増えることで、主に以下の悪影響を地域にもたらします。

- ①【生態系への影響】餌の競合や捕食により、在来種が絶滅の危機にさらされています。
- ②【人体・生活への影響】家屋侵入や、感染症を媒介させることがあります。
- ③【農作物への影響】畑や農作物、養殖魚等の食害被害が報告されています。

豊かな里山が広がる青梅市では、特にアライグマの目撃情報が多数寄せられていることから、アライグマの繁殖地になっている可能性があります。外来種を増やさない・寄せ付けないように、皆様のご協力をお願いいたします。

## 市にご依頼後の流れ

市の委託業者が足跡等の痕跡を確認し、必要に応じて捕獲器を設置します(設置は屋外のみ)。相談者には餌のご用意と、毎日の見回りをお願いします。

設置期間は2週間で、必ず捕獲できるわけではありません。また、アライグマ・ハクビシン以外の動物が捕獲された場合は、その場で解放されます。

動物を寄せ付けないために、餌となり得るものや生ごみを屋外に放置しないこと、また、建物の侵入を防ぐために、住居の穴ふさぎ等の対策をお勧めします。(費用は自己負担)

詳しくは市ホームページをご覧ください



アライグマ・ハクビシンについて おうめ地図情報システム  
お問い合わせ: 青梅市環境政策課管理係  
0428-22-1111(内線2536、2537)

▼ タヌキ(左)やアナグマ(右)は駆除対象外です

